

—— メリットと事業の流れ ——

POINT 1

課題診断

テレワーク課題診断ツールで貴社のテレワーク課題を把握・分析し、診断レポートを発行します。



POINT 2

課題解決に向けた助言

診断レポートに基づき、ICT等の専門家がツール選定や今後の取組について助言します。



POINT 3

助成金をご紹介します

助言を受けた企業が対象となる助成金の紹介も行います。



—— 支援企業の声 ——



課題診断によって、自分たちだけでは気付かなかった課題を発見できました。また、コンサルタントの的確なアドバイスによって、今後のアクションも明確になりました。

助成金を活用しツールを導入できたことで、テレワーク環境が改善され、人材不足などの経営課題解決にもつながりました。



—— Q&A ——

Q 助成金の助成対象や対象企業の要件について教えてください。

A 当事業のコンサルティングを受けて、提案書の発行を受けると申請ができる助成金がございます。詳細は下記より東京しごと財団のホームページをご覧ください。

<https://www.shigotozaidan.or.jp/koyo-kankyo/joseikin/follow.html>



Q 非正規社員にテレワークを導入する場合も助成金は支給されますか？

A 伴走支援型コースのコンサルティングを受けて、「テレワーク導入提案書」の発行を受けることで「テレワーク促進助成金」の「非正規社員拡充コース」を申請することができます。詳細は下記よりご覧ください。

<https://www.shigotozaidan.or.jp/koyo-kankyo/joseikin/telesoku.html>



本事業は東京都産業労働局よりパーソルテンプスタッフ株式会社が委託を受けて運営しております。



東京都産業労働局



◆テレワーク定着への課題解決アドバンス事業◆

経営課題解決のカギ！

テレワークの活用を支援します！

こんな課題を抱えていませんか？

テレワーク課題を診断

費用全て無料

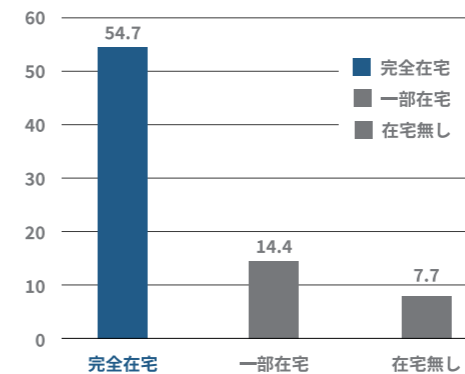
助成金活用のサポート



社員それぞれに合った働き方を選択できる環境を整備することは、経営課題の解決、ゆくゆくは企業自体の魅力アップに！

当事業では課題診断でテレワーク課題が見える化し、専門家からアドバイスが受けられます。

1求人あたりの応募者数(23区内)



テレワークを取り入れてコスト削減ができる例

- 2フロアを1フロアに集約、家賃や冷暖房等にかかる電気代削減
- 座席数を減らし、デスクやチェアの削減
- 通勤交通費の削減

お申し込みはホームページから

<https://telework-followup.metro.tokyo.lg.jp/>

テレワーク定着への課題解決アドバンス事業 🔍 検索



LINE 友だち募集中

コンサルティングの実施事例やテレワーク情報をお届け！



テレワーク定着への課題解決アドバンス事業運営事務局

☎ 03-6800-6004

受付時間 9:00~17:00(平日のみ)

✉ info@telework-advance.jp

支援事例をご紹介します

じっくり伴走支援型(5回)コース

課題診断 + 5回のコンサルティング + 助成金活用のサポート

お悩み解決メニュー

- ・テレワークを導入したい非正規社員がいる。活用できる助成金は？
- ・求人を出しても反応がない。在宅勤務可にして応募を増やしたい
- ・テレワーク環境を整えてオフィスを縮小し、経費削減がしたい
- ・会社と在宅に適した業務の切り分けをしたい

CASE 01 非正規社員へテレワーク機器を導入し、採用課題を解決！



明確になった課題

正社員を募集しているものの、なかなか応募がなく、採用につながらない。そこで、非正規社員が在宅勤務できるようなテレワーク機器を導入して、採用の対象を「テレワーク希望の非正規社員」へ広げたい。

解決の方向性

日々の業務を洗い出し、ツールと在宅用 PC を整備することでテレワークが可能になる業務が多くあることが判明。活用できる助成金や、導入すべきツールや機器の選定についてアドバイス。

支援の結果

助成金を活用し、非正規社員へテレワーク機器を導入したことで**採用の対象が広がり、人材不足解消**につながった。

CASE 02 ネットワーク環境の整備により、人材採用にも効果が！



明確になった課題

テレワーク時の環境が悪く、制度があるものの活用しきれていない状況。テレワーク環境を改善し、従業員がストレスなくテレワークできる環境を整え、「テレワーク可」を求人広告に打ち出し採用につなげたい。

解決の方向性

日々の業務の洗い出しから、業務に適した機器の選定・導入についてアドバイスを行った。また、ネットワーク環境の整備やテレワーク時のセキュリティ対策についても助言した。

支援の結果

テレワーク時の環境が改善され、テレワーク活用につながった。また、テレワークができることを求人広告で発信したところ、**応募者が急増し、慢性的な人材不足改善**にもつながった。

サクッとツール支援型(2回)コース

課題診断 + 2回のコンサルティング + 助成金活用のサポート

お悩み解決メニュー

- ・電話番号や押印のためにわざわざ出社したくない
- ・在宅勤務時、社員の業務を可視化したい
- ・社内フォルダに、社外から安全にアクセスできるようにしたい
- ・プライベートの連絡ツールではなく、業務用のチャットツールが欲しい

CASE 01 稼働実績を見える化して、業務効率を UP !



明確になった課題

テレワークを取り入れているが、テレワーク時の勤務状況が見えず、提出物の納期遅れが発生している。出社時と比べて業務効率が落ちているため、勤怠管理をきちんと行いつつ生産性を上げたい。

解決の方向性

タスク別の稼働時間を集計できるグループウェアの導入により、稼働実績を見える化し、生産性向上に。勤怠管理に関しては、カレンダーツールを導入し、テレワーク勤務日の作業予定・実績を入力をさせて適切な管理を行い、業務効率化への意識醸成に貢献できることを助言。

支援の結果

助成金を活用し、グループウェアやツールを導入したことで、テレワーク時でも**勤務状況を見える化**し、従業員の意識向上から**業務効率の改善**につながった。

CASE 02 全社的なテレワーク活用を浸透させ、大幅なコスト削減へ！



明確になった課題

部署によってはテレワーク活用が進んでいるものの、紙での経理業務がある管理部門ではテレワークが浸透していない。コスト削減のため、テレワークが難しい部署でもテレワークができるようにして、ペーパーレス化を進めたい。

解決の方向性

助成金を活用し、社外からも社内システムにアクセスできるクラウド会計ツールを導入するようアドバイス。導入したツールの活用方法について他社事例をふまえて紹介した。

支援の結果

ツールの導入により今まで出社して行わなければならなかった業務も在宅でできるように。**ペーパーレス化**はもちろん、従業員の交通費・オフィス賃料など、**大幅なコスト削減**につながった。